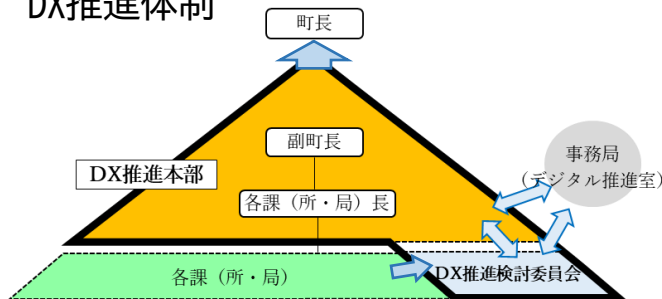


松島町DXのしおり



DX推進体制



(1) DXって何？ 町が目指す姿に向け、方針の策定

“デジタル”と聞くとパソコンを使うのかな、スマートフォンを使うのかな、と難しく聞こえるかもしれません。確かに、パソコンやスマートフォンを使うものもありますが、実は、DXはもっと広い範囲に影響があるものです。DXは、デジタル技術等を活用して、住民サービスを向上させ、更なる業務効率化を図ることが目的で、国が推進計画を定め、自治体が取組の方針を定めることとされました。

→町：松島町DX推進基本方針の策定（令和4年3月）

- ・「デジタル技術等を活用して、これまでの考え方や仕組みを変革する」
- ・「デジタル社会の実現のための中長期的な方向性や重点的に取り組む事項を示す」
などの目的で策定しています。

(2) 基本方針

目指す姿【いつでも」「どこにいても」「手軽に」スマートで暮らしやすいまち】

デジタル媒体を活用して行政手続きを完結させられる“スマートな”行政サービスのあり方を目指し重点取組事項3項目、基本的な取組事項4項目を定め、推進していきます。

i 重点取組事項

- ①行政手続きのオンライン化(マイナンバーカードの普及促進を含む)
- ②デジタルデバイド対策(スマートフォンの講座など)
- ③自治体情報システムの仕様の標準化に係るシステム移行



ii 基本的な取組事項

- ①全行政職員のデジタルの意識改革と人材の育成
- ②行政事務の効率化(行政手続きを簡単に、手軽に)
- ③セキュリティ対策の徹底(町の情報のセキュリティ強化)
- ④オープンデータを前提とした情報整備



→松島町DXにおける取り組むべき9事業（令和4年12月）

町が優先的に行うべき9事業を、松島町DX推進本部を中心に検討しました。

→9つの事業について、裏面で紹介します！

(3) 取り組むべき9つの事業とは？

実は、DXには明確な終わりがありません。技術は常に進歩し続けているので、その時代に合わせて町にとって必要なものを取り入れ続けなければならないからです。

今回定めた9つの事業については、令和7年度末までの実施を目標にしています。全国の事例を見ながら、現在の町に必要な事業から優先して取り組んでいく計画です。

① 行政手続きのオンライン化

役場に来て行う各種手続きについて、可能な手続きのオンライン化を順次進めます。
現時点では福祉分野及び転入出等でオンライン化が行われています。

② マイナンバーカードの普及促進・有用性拡張

マイナンバーカードについて、町独自の追加機能を検討します。
防災の分野を始め、個人の認証が必要な分野で活用が見込まれます。

③ 町民のデジタル機器活用支援

デジタルの手続きに必要なスマートフォンなどの講習会やアンケートを実施します。
令和4年度から実施しており、ご好評をいただいています。

④ 職員のデジタルアレルギー克服とデジタル人材育成

DX時代に必要とされる知識などを身につけるための研修を行います。
現在は、情報セキュリティについて優先して進めています。

⑤ 役場行政事務の効率化

デジタル技術を前提とした事務の効率化を進め、窓口の待ち時間を少なくしたり、事務を正確に早く進められる仕組みを整えます。

⑥ 情報ネットワークの再構築

全職員が接続するネットワーク網の再構築を実施します。
セキュリティと情報共有を両立させ、安全・効率的に行政事務を進めます。

⑦ 松島町情報セキュリティポリシー改定

松島町の情報セキュリティポリシーを、現在のDXの状況に対応して改定する事業です。
令和4年度に改定を終え、現在運用中です。

⑧ 次回事務用PC更新の方針決定

職員が業務に使用するPC(パソコン)について、システム構成の見直しや、台数の精査などにより、適切な更新を行う事業です。

⑨ オープンデータを前提とした情報整備

町の保有する情報で、公開でき、その活用を見込めるものについて、情報を整備して県のポータルサイトなどに公表を実施します。

○デジタル推進室って何をするとところ？



デジタル推進室は、松島町DXの窓口になっています。

DXについての疑問点があればデジタル推進室(354-5809)にお問い合わせください。

